

熊本中央病院 院内トリアージ実施基準

(目的)

本基準は、限られた医療資源を効果的に活用し、緊急度・重症度に応じた適切な診療順序を決定することを目的とする。

(適用範囲)

本基準は、以下の患者について適用する。

- ・救急外来を受診するすべての患者
- ・時間外診療を受診するすべての患者

(トリアージ実施者)

トリアージは、以下のいずれかの要件を満たす看護師が実施する。

- ・救急医療の経験を3年以上有する看護師
- ・トリアージ研修を修了した看護師
- ・宿日直を行う看護師

(トリアージ方法)

トリアージ方法は JTAS (Japan Triage and Acuity Scale) を活用する。

また、トリアージ開始時間は患者来院後 10 分以内を目標とし、トリアージに要する時間は患者 1 人あたり 2~4 分を目標とする。

蘇生 (Blue)	直ちに診察・治療が必要	心停止 重症外傷 痙攣持続 高度な意識障害 重篤な呼吸障害 など	治療の継続
緊急 (Red)	10分以内に診察が必要	心原性胸痛 激しい頭痛、腹痛 中等度の意識障害 抑うつ、自傷行為 など	15分毎の再評価
準緊急 (Yellow)	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧 痙攣後の状態(意識は回復) 変形のある四肢外傷 中等度の頭痛、腹痛 活動期分娩 など	30分毎の再評価
低緊急 (Green)	1時間以内に治療が必要	尿路感染症 縫合を必要とする創傷(止血済み) 不穏状態 など	1時間毎の再評価
非緊急 (White)	2時間以内に診察	軽度のアレルギー反応 縫合を要さない外傷 処方、検査希望 など	2時間毎の再評価

(トリアージの流れ)

トリアージの流れは以下のとおりとする。



- ①受付後、10 分以内に問診を実施しトリアージを行う。
- ②トリアージ実施者はトリアージレベルに応じて診察の順番を決定する。
- ③診察待ちの間に JTAS 基準に沿って再評価し、再トリアージを行う。
- ④初回および再度のトリアージの結果はカルテに記載する。

附則

本基準は、令和 8 年 6 月 1 日から施行する。